令和7年度 第1回 学校関係者評価委員による主な意見および今後の手立て

岐阜県立下呂看護専門学校

評価項目	評価項目ごとの意見	意見に対する今後の手立て	R7 平均点	R6 平均点
I 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・県立3校の衛生専門学校間で連携しそれぞれの強みを生かした支援ができるとよい。 ・一般的な「経営」という視点では入学者数が定員割れしている点から、課題があると言わざるを得ないが、少子化や、看護師養成が専門学校から4年生大学が主流となっている時勢からは致し方ないともいえる。県内の高校訪問・オープンキャンパス開催等の広報活動など十分な努力をされている。 ・中期目標に記されている「運営」という視点では、学生が少ないことを強みとしてとらえ、学習機会の提供・様々な支援など濃度の濃い関りが出来ており、良い環境提供ができています。 ・学校のビジョンや組織目標を設定し、全職員が共有して取り組み、中間や年度末の評価を生かした取り組みができており良いと思う。様々な課題があった時に、迅速に対応することが学校運営上で大切であるため、今後も大切にしていきたい。 ・組織目標に対しての評価、課題が明確化されている。 ・教員間でのとりくみが共有できている。 ・入学生確保について新たな取り組みも実施しており、入学希望者が増えるとよい。 ・管理職のリーダーシップのもと、教職員が一丸となって組織目標の達成及び課題の改善に向けて取り組みが行われている。また、学生教育の中で日々起こる問題に対しても、管理者が明確な指示を出し、教員が同じ方向に向かって進むことができている。引き続き様々な問題に対しても、組織として解決に向けて取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校のビジョン、組織目標を職員間で共有し、一貫した組織運営を継続する。 ・関係者評価結果を受けて、下呂看護専門学校運営計画の見直しを行う。 ・本校の強みを各職員が意識した学校運営ができるよう、職員間での意思統一を図る。 ・突発的な事案に対し迅速な対応が常に行われるよう、情報伝達経路の周知徹底と平日頃からの情報共有に取り組む。さらに事案後には対応方法について振り返り、より良い対応ができるように努める。 ・現在、県立3校において、各校の強みや特性を意見交換する場は設けていないが、今後検討する。 	4.5	4.5
II 学科運営	<ul style="list-style-type: none"> ・就職先への看護実践能力や実践状況のアンケート結果を見ると、辛辣な意見があるが、アンケート回答者の「許容量や包容力」の差もあるようには感じる。授業計画や指導方法が良くても、受け取る学生側の元々の資質が結果に大きく影響すると推察する。教育現場の難しさや大変さがありながら、きめ細やかな対応ができています。 ・看護学校として常に足場を学生に置いて取り組むことが大切だと思います。様々な評価を基にして、改善が図ってみえることが良いと思う。こうしたことも次年度にはではなく、すぐに対応していくことが大事だと思う。世の中の変化が激しい中、それに対応できる教育内容や教育方法の改善を進めてほしい。 ・看護師になるための教育について計画的に行われている。 ・卒業後の就業施設からは厳しい意見もあり、学校で学んだことが必ずしも現場へ出てから通用するとは限らず、3年という短期間で社会性を身につけてもらうのは難しいかもしれないが、教員との関わりから学んでいけるとよい。 ・実習については、学生への負担を考え、内容を担保した上でこれまでの事前学習や記録について削除するなど、思い切った取り組みがされている。これまで当たり前に行われていたことを見直し、今の学生や求められる教育内容に合わせた学習方法に変更していくことは大切である。引き続き、課題の改善を図りながら、効率的な学習になるよう取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマポリシーの各段階別到達目標を用いて、カリキュラム評価（教育目的・教育目標・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに対し）を行う。 ・社会の動向を見据えたうえで、教育内容、方法を適宜見直す。 ・授業研究、授業参観、実習ミーティング、伝達講習を継続し、学生の特性や求められる教育内容を踏まえた教育を展開する。 	4.3	4.2
III 入学・卒業 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援、特に就職先の選択について学生さんが考える時には、ナースセンターを活用してください。ミスマッチをしないようアドバイスができると思う。 ・入学者数が定員割れしている点から、課題があると言わざるを得ないが、少子化や、看護師養成が専門学校から4年生大学が主流となっている時勢からは致し方ないともいえる。県内の高校訪問・オープンキャンパス開催時の広報活動は十分な努力をされている。 ・就職支援アンケートからは、おおむね肯定的な回答が多い。 ・定員に対して、入学者が少ないことは残念。様々な取り組みを行ってみえるようですが、今後も工夫をされて学生確保に努力をしてほしい。確かに小・中学校の子どもで、看護師になりたいという子は、昔と比べて少なくなっている。看護師の魅力や下呂看護学校の良さを小・中学校の児童生徒にも伝えていってほしい。国家試験100%を是非実現してほしい。 ・下呂市や下呂温泉病院の協力で、学校だけでなく実習先も見学できることが連携できていてよい。少人数体制で1人1人にきめ細かい指導・支援ができています。学生・教員ともに国家試験100%という目標に向かって協働している。 ・入学生の減少傾向は変わらない中で、学校としてできる限りの工夫をして入学生確保のために取り組みをされている。その結果、わずかであるが、昨年度より入学生が増えており、その効果を期待したい。引き続き工夫していただき、今後も少しずつでも入学生が増えるとよい。 ・卒業生対策としては、県内就職率も高く、また卒業後の支援も行われている。引き続き卒業生が相談しやすい環境を整えていただき、卒業生の離職防止につなげていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一丸となり、進学ガイダンス、オープンキャンパス、高等学校訪問等を継続する。下呂市・実習病院との連携や小中学校への出前授業等を行い、本校の特徴や看護職についてアピールし入学生確保や看護職確保に繋げる。さらに、社会人にもターゲットを広げた広報活動を行う。 ・国家試験全員合格を目指し、模擬試験、支援担当教員による支援、WEBを活用した学習支援システムを用いて継続的な学習支援を進める。また、国家試験不合格者に対しては、学習状況の確認、模擬試験の案内や国家試験手続き等の情報提供を行い、今年度の合格に向け支援する。 ・卒業生の就業支援や離職防止に繋がるよう、気軽に母校に来校し近況報告や相談ができる環境を整える。 ・就職先について迷っている卒業生に対しては、看護協会などの外部機関による相談を勧めるなど対応する。 	4.2	3.8

<p>IV 学生生活への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかに学生さんに関わられていると思います。 ・スクールカウンセラーの活用等、支援が行われている。学生に対するアンケート結果からも、支援が受けられていることがうかがえた。 ・学生が安心して学校生活を送れることと、一人一人がしっかりと目標をもって学んでいけることが大切だと思う。そのための就職支援やスクールカウンセラーの活用などしっかりと対応されていると思う。日常の中で、学生がいつでも相談できる体制作りが大切だと思う。 ・卒業生と語る会など交流の場があることで、実習と学習のすすめ方や、就職してからの生活についてイメージしやすく、モチベーションもあがるのでよい。ストレス調査やスクールカウンセラーで精神的な面での支援も行われている。 ・学生への関りについては、これまでの課題を踏まえて真摯に取り組んでいる。 ・日々問題を抱えた学生への対応は大変な労力を使うが、一場面一場面丁寧に関わり、また教員間での話し合いなどを重ね、学生が心身共に健康な状態で学習に臨めるよう様々な工夫をしている。必要時はスクールカウンセラーやその他の関係者との連携をしながら対応していくことができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が安心して学修に臨める環境整備を引き続き進める。学生生活実態調査結果や意見箱に投函された意見を大切に、学生と共により良い環境を整備する。精神的支援については、スクールカウンセラーによる面談や教員による個別相談を行う。さらに、教員向けの研修により教員の対応スキル向上に向けた取り組みを行う。 ・就職支援については卒業生と語る会や業者の説明会、個別相談を今後も継続する。 	<p>4.7</p>	<p>4.0</p>
<p>V 教職員の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のペア制や相互授業参観の導入など、能力向上の工夫がされている。ゴール設定の数値化が難しい項目だけに評価も難しい。 ・研修や講習会など計画的に行われていることは良いと思う。小・中学校でもチーム担任制を導入する学校が増えています。教員のペア制もそれに近い物かと思う。学校や学年の運営をチームで行っていくことは有効だと思う。その運営方法などは今後も研究を進め、改善を図っていけるとよいと思う。 ・研修参加や教員内の授業公開で自己研鑽に努めており、スキルアップのための活動ができています。 ・臨床研修でその時々医療現場を学んでいる。 ・教員ペア制に対しては、とても良い取り組みであり、前年度の課題を改善することで、教員の肯定的な意見を増やすことができ結果につながっている。新人教員に関わらず、お互いがサポートし合う事は大切である。今後も教員間でサポート体制を整えていくことに期待する。 ・臨床研修については、臨床現場から長年離れた教員もいるため、定期的の実施できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の振り返りをふまえ、今年度は、ペアにこだわらず、教員間でお互いに高め合える職場風土を作っていく。実習ミーティングや教務会で学生との関りの振り返り、授業の参観、授業研究、伝達講習などの機会を活用し、各自が学んだ内容を生かした教育ができるよう取り組む。 ・計画的に臨床研修を実施する。 	<p>4.3</p>	<p>4.2</p>
<p>VI 管理運営・財政</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルが整備されている。 ・財政については材料がなく評価できない。 ・予算に関しては計画的に執行等されているとのことと良い。 ・学生や教職員への研修や事例の共有はこれからも大切にしてほしい。危機管理や不祥事防止の研修などは、計画的に進めていくことが大切だと思う。 ・計画に基づいて行われている。学生の意見・要望を聞く場が設けられており、対策や対応を検討し、反映できるよう努めている。 ・近年問題重視されているパワーハラスメントについても取り組まれている。 ・教職員が協力し合って、学校の課題や財政的な問題に対して対応できている。引き続き、教職員一同が連携しながら管理を行っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、計画的な予算の策定、予算執行を行う。 ・災害等の対応に向けて、防災マニュアルを不断に見直し、危機管理体制の充実を図る。 	<p>4.5</p>	<p>4.5</p>
<p>VII 施設設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建物自体は古いですが、よく整備されている。 ・図書の本は古いものもあった。(現代の常識やガイドラインに沿っているか?) ・校舎自体が新しくはないので、色々な施設整備の改善は必要になってくるとは思いますが。学生や職員の要望を参考に計画的に改善を進めていく必要はあると思う。今の小・中学校や高等学校の児童生徒は、タブレットは必須の機器で、どんどん使っている。そうした子供たちが入学してくるので、ICT機器の充実を進めていってほしい。 ・築年数を感じさせないほど綺麗な状態を保っている。調理実習室をリフォームしたスペースは、メリハリをつけて休息できる場としてよい。 ・教室以外にも図書館など学習しやすい環境が整っている。 ・学生の意見を聞き、できることから改善している姿勢は評価できる。図書の貸し出し状況については、他校でも課題となっており件数を増やすための対策が図られているが、これまでの方法を見直し、実際に来館者が増えたことはよい結果となったと言える。その他の施設設備についても適宜状況に合わせて対応できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設・設備に対しては、定期点検を実施するとともに、定期的に学生、職員から意見をきき、改善に向けて取り組む。 ・ICT機器に関しては、県と連携し環境を整える。 ・図書についても、最新の図書を計画的に購入する。 	<p>4.3</p>	<p>4.7</p>

<p>Ⅷ 広報 社会貢献 地域活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報はできるだけ範囲を広げて行くとよいと思う。また、その時には市や多職種の団体とともに出来たらよい。 ・地域の小中学校訪問、県の高校訪問・オープンキャンパス開催等の広報活動は十分な努力をされている。 ・下呂市にある学校として、ボランティア活動を行うことは素晴らしいと思う。続けていくことで、下呂看護学校の認知度も高まると思う。看護師になりたい、下呂看護学校に入学したいと思う子どもを増やすために、市内の学校へ出向いたり、一緒に何かに取り組んだりできると良いと思う。 ・ホームページで学校の取り組みや案内、様子がみられて状況がわかりやすい。下呂ネットで地域の方に学校を知ってもらえるのがよい。在学中の学生や卒業生からのコメントものせるとさらにイメージしやすい。 ・学校の認知度を上げるために様々な工夫がされている。また、地域の特徴を活かし、ケーブルテレビを利用したり、ボランティア活動を通して市民への広報と地域活動を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を通して学生としての社会貢献ができるよう支援する。 ・ホームページで学生生活の様子を紹介、小中学校への訪問、下呂市と共同して情報発信を行うことで、本校に興味を持ってもらえるよう工夫する。さらに、学校の知名度が上がるよう工夫する。 	<p>4.2</p>	<p>4.3</p>
<p>Ⅸ 独自項目 寄宿舎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建物は古いですが、温泉付きの整備された寮があることは強みである。 ・入寮者が生活しやすいように改善が図られていることは良いと思う。校舎と同様で、入寮者の意見を参考に、今後も運営や施設改善を進めていってほしい。寮での学習を進めるためにも、Wi-Fiネットワークの整備を進めていく必要があると思う。 ・電気や冷暖房の使用可能時間も延長され、学業に専念できる生活環境になっている。一人部屋でプライバシーも守られていてマイペースに過ごすことができる。弁当について、学生の意見が反映されていくとよい。 ・寄宿舎は、入舎している学生にとっては自宅と同様の場所であるため、快適な生活環境が必要である。限りある条件の中で、少しでも学生が生活しやすいよう学生の要望の応えられるよう、様々な努力がなされている。「満足」の回答が増加したことは努力の結果と言える。以前より学生は減っているが、生活における様々な問題が生じるため、引き続き教職員が連携しながら対応していただけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生にとって、快適な生活が送れる環境であるよう、今後も学生の意見を取り入れながら整備する。 ・WiFiの整備については、導入の可否について検討する。 	<p>4.2</p>	<p>4.7</p>